

第7回 ひょうごユースecoフォーラム
HYOGO YOUTH ECO FORUM

開催報告書

2025

12/20 土

時間

11時～16時

場所

兵庫県立工業技術センター

主催 兵庫県・公益財団法人ひょうご環境創造協会

協力 兵庫県立人と自然の博物館・兵庫県立淡路景観園芸学校

プログラム表紙イラスト 制作

近畿大学附属豊岡中学校1年

谷 佳央理・永木 恵凧・古田 尊琉

コウノトリやヤイロチョウをはじめ、昆虫・爬虫類・海の生き物などを描きました。たくさんの生き物が息づく自然豊かな兵庫県であってほしいという思いを込めています。



目 的

Objective

次代を担う若者と、地域の団体・企業など多様な主体が交流し、ともに未来を構想しながら、環境保全・創造の可能性を広げる場として、「ひょうごユースecoフォーラム」を開催しました。

本フォーラムが、ご参加いただいた皆さまの活動をさらに前進させ、“兵庫の自然の恵み”を将来につなぐ確かな歩みとなることを期待します。

C O o r d i n a t o r



県立人と自然の博物館名誉館長 中瀬 勲

あいさつ

このフォーラムは、前身の「ひょうご環境担い手サミット」を含めると、今年でめでたく10周年を迎えました。

思い起こせば、去る1992年、ブラジルのリオデジャネイロで「環境と開発に関する国連会議」が開催されました。世界中の国々が参加し、「Think globally, Act locally(地球規模で考えて、地域で行動しよう)」という合言葉のもと、環境問題への国際的な機運が高まる契機となりました。

そこから33年が経ち、地球規模の課題が複雑化する中、あらためて私たちは、真の意味で、地域で何ができるのかを考える時期に来ています。

本日は、学生、地域で環境保全に取り組む方々、事業者など、多様な立場の皆さんが一堂に会していますので、世代や分野を超えて環境問題を話し合う良い機会です。若者は新しい息吹を生み出し、ベテランの方はその経験を継承していただき、楽しく、実り豊かなものにしましょう。

Program



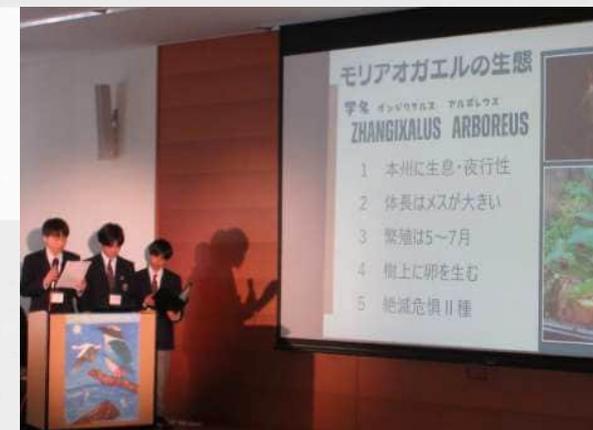
- 口頭発表（6団体）
- ポスターセッション（37団体）
- グループディスカッション（16班）
- グループ発表



発表 1 小さな池で描いた大きな夢

西宮市立山口中学校 モリアオガエル保存会

モリアオガエルの保存活動を57年にわたり続けている同校では、生態解明や近年の気候変動・環境変化に対する繁殖行動を調査研究している。発表では、繁殖成功率を高める活動や保護活動による地域への波及効果などについて解説。



発表 2 里山のクロモジ、かおりのひみつ

県立小野高等学校 かおり班

里山に生育するクロモジ類は同定が難しく、種によって香りも異なる。発表では、香り成分の分析からクロモジ類の同定の可能性に挑戦した取組とともに、香り成分がゴキブリに対する忌避効果を示す実験結果について動画を交えて解説。



発表 3 GWC Thinkersの活動2025

GWC Thinkers (兵庫県地球温暖化防止活動学生推進員)

「GWC Thinkers」は県内の大学生で構成され、地球温暖化防止対策を啓発・普及するボランティアグループである。発表では、環境イベントでの啓発活動やSNSでの情報発信、2050年ネットゼロに向けた企業の取組取材などを紹介。



発表 4 甲子園球場とメリケンパークでの 環境に関するイベント実施報告 武庫川女子大学社会情報学部 井上ゼミ

チーム「cosmecco EMA」では、ゴミゼロ活動や環境美化などのイベント企画・運営に取り組んでいる。発表では、甲子園球場でのプラカップ回収の取組や、メリケンパークで開催された啓発イベントの運営支援・ブース出展などの活動を紹介。



発表 5 エフピコ方式の循環型リサイクルについて 株式会社エフピコ

同社では、1990年から使用済み食品トレーを再度トレーに戻す「エフピコ方式の循環型リサイクル」を展開している。発表では、消費者・スーパー店舗・包材問屋などの連携のもとに稼働している同社の循環リサイクルの仕組みなどを解説。

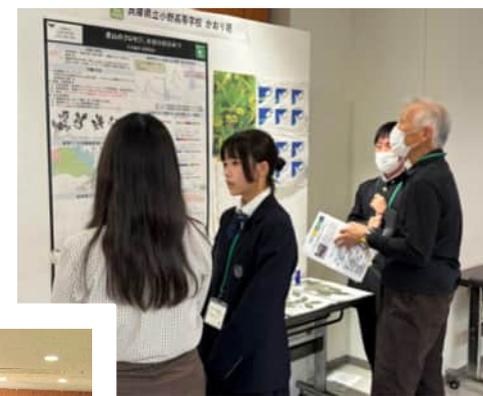


発表 6 里山から始まる取り組みの輪 オーエス株式会社

同社は神戸市と協定を締結し、多井畑西地区の里山保全に取り組んでいる。発表では、放置竹林に着目した竹炭の作製や耕作放棄地の開拓など、エンタメ事業の特性を生かした体験型ワークショップによる里山と地域・人をつなぐ活動を紹介。



ポスターセッション



参加者の感想(一部ご紹介)



- ✓ ひょうご豊かな海づくり県民会議の発表で、**私たちが魚をたくさん食べることで、豊かな海につながる**ことを知った。
- ✓ 西宮市立山口中学校モリアオガエル保存会の発表で、**50年以上も続く保存活動でも毎年新しい発見がある**と聞いてびっくりした。
- ✓ いえしま自然体験協会の発表で、「**資源にもゴミにもなる、だからリサイクルや再利用が大切**」という言葉が印象に残った。
- ✓ 武庫川女子大学社会情報学部井上ゼミの発表で、この先、**何の対策もしないまま地球温暖化が進行したら、100年後の推定気温は50℃を超える**と知って、驚いた。

ポスターセッション

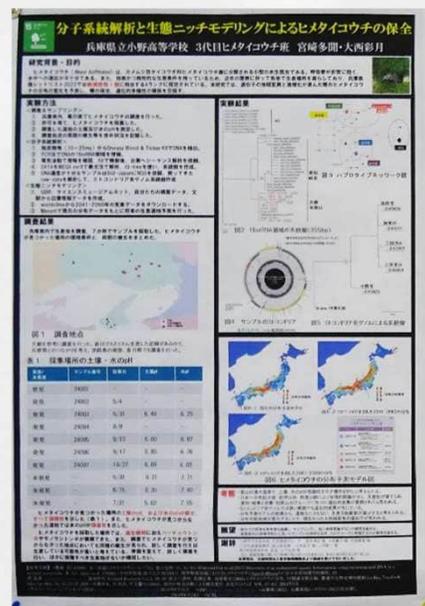
1 武庫川女子大学 社会情報学部 井上ゼミ



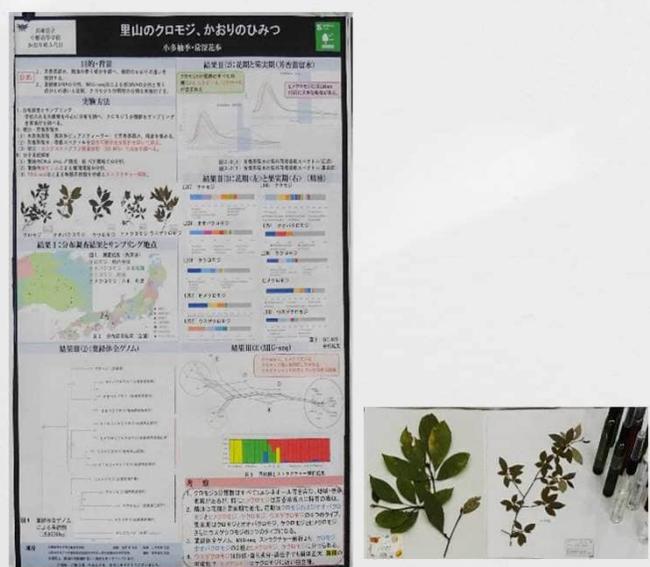
2 県立尼崎小田高等学校 環境班



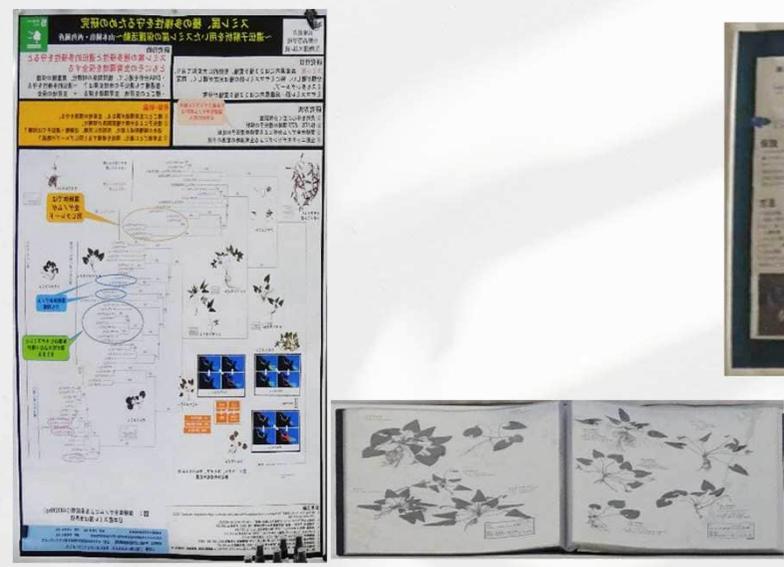
3 県立小野高等学校 ヒメタイコウチ班



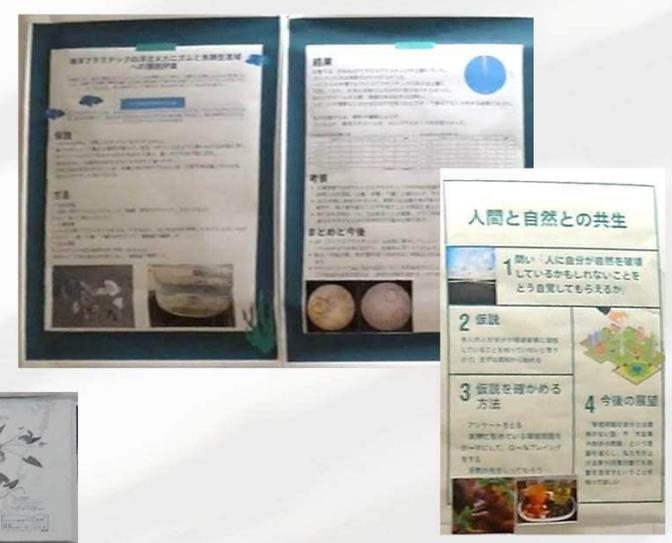
4 県立小野高等学校 かおり班



5 県立小野高等学校 すみれ班



6 近畿大学附属豊岡高等学校



ポスターセッション

7 相生湾自然再生学習会議



8 県立農業高等学校 発酵技術研究会



9 ダイハツ工業株式会社



10 ひょうご自然教室



11 県立有馬高等学校 昆虫研究会

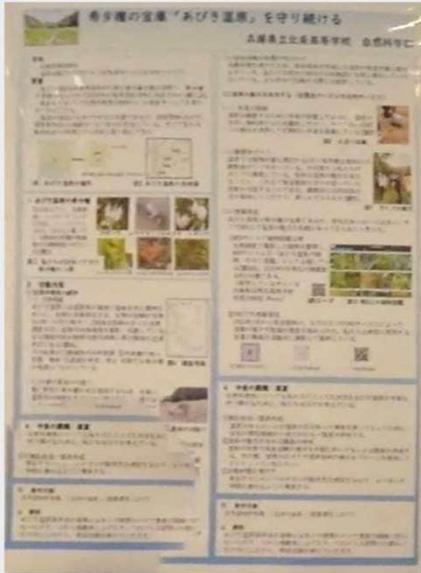


12 GWC Thinkers (兵庫県地球温暖化防止活動学生推進員)

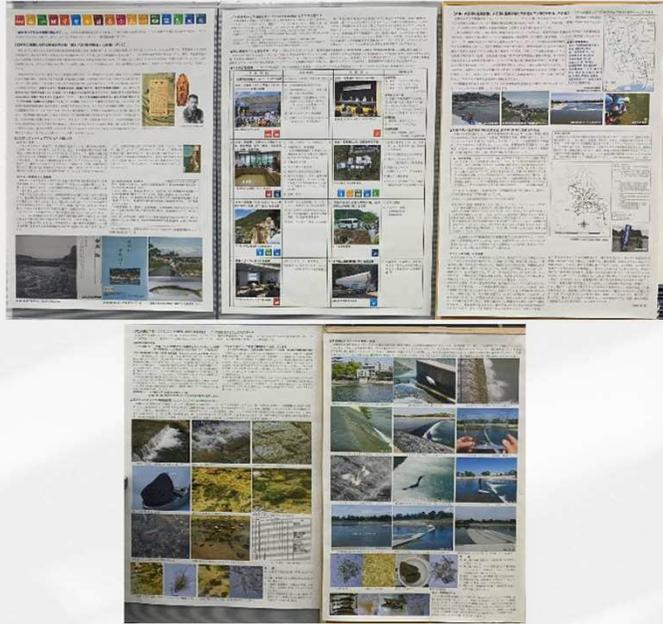


ポスターセッション

13 県立北条高等学校



14 武庫川づくりと流域連携を進める会



15 オーエス株式会社



16 #つながり



17 特定非営利活動法人
PVネット兵庫グローバルサービス



ポスターセッション

18 一般社団法人いえしま自然体験協会



19 温暖化防止こうベネット



20 NPO法人創エネ神戸



21 生活協同組合コープこうべ



22 武庫川女子大学 環境共生学部



ポスターセッション

23 兵庫医科大学
エコチル調査兵庫ユニットセンター



24 株式会社エフピコ



25 学校法人七松学園
認定こども園七松幼稚園



26 NPO法人
うず潮を世界遺産にする淡路島民の会



27 株式会社日本海水 赤穂工場

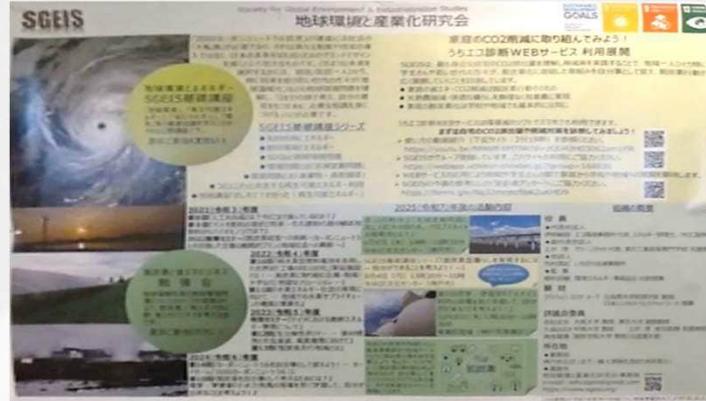


ポスターセッション

28 西宮市立山口中学校
モリアオガエル保存会



29 地球環境と産業化研究会 (SGEIS)



30 県立御影高等学校 環境科学部



31 兵庫県立大学大学院
緑環境景観マネジメント研究科



32 ひょうご環境体験館



ポスターセッション

33 ひょうご1.5°Cライフスタイル



34 ひょうご豊かな海づくり県民会議



35 ひょうご環境保全連絡会



36 ひょうご高校生環境・未来リーダー育成プロジェクト



37 ひょうご海ごみリーダー養成講座



未来の暮らしを描こう～人と自然が共に豊かになる社会とは～

“脱炭素” “自然共生” “資源循環” の社会を実現するため、「私は」「社会は」何をすべきかをテーマに、嶽山コーディネーターの進行のもと、参加者が16班に分かれて意見交換しました。

C o o r d i n a t o r



【グループディスカッションコーディネーター】

嶽山 洋志

兵庫県立大学大学院
緑環境景観マネジメント研究科 准教授

兵庫県では、昨年、新しい環境基本計画を策定した。脱炭素・自然共生・資源循環の各分野において、「環境価値を創出すること」「取組の相乗効果の最大化を図ること」「担い手を確保すること」を施策展開の方針として掲げている。

これらを踏まえ、自分たちにどんなことができるだろうか、そのために必要な行動や連携は何かといったことを議論していただく。

今回の特徴は、「個人の視点」と「社会の視点」の両面から考えること。自分で取り組めることはもちろん、企業・行政を含めた社会でならどんなことができるだろう。皆で意見を交わし、発想を広げてもらえたらと思っている。

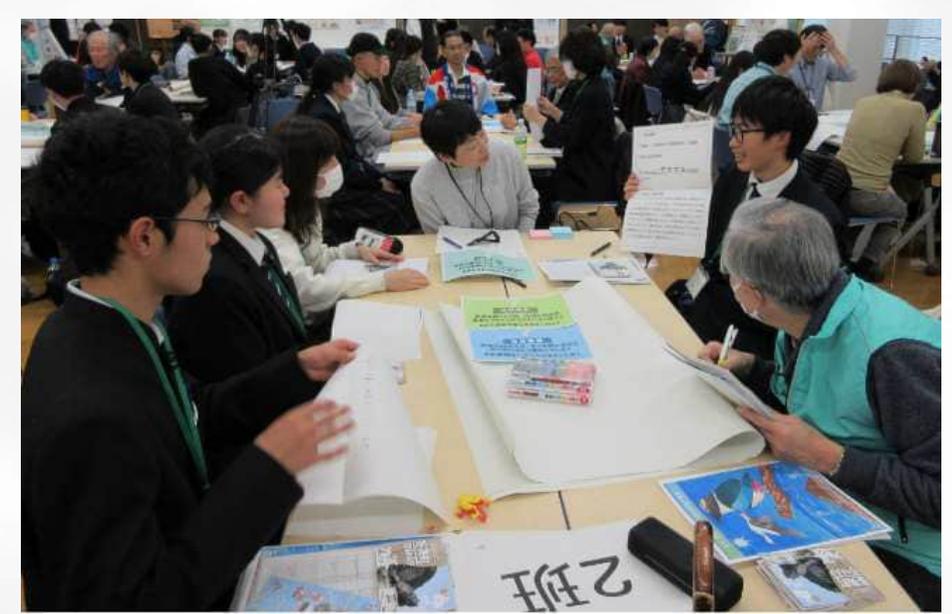
常識にとらわれない考え方、新しいアイデアを期待する。

ファシリテーター

F a c i l i t a t o r

1班	いちむら なおこ 市村 尚子	認定NPO法人コミュニティ・サポートセンター神戸まちづくりスポット神戸 マネージャー	9班	ふじわら よしみつ 藤原 良光	兵庫県立播磨福崎高等学校 校長
2班	いまい ひろこ 今井 ひろこ	NPO法人たじま海の学校 副代表	10班	うえやま まさひこ 植山 正彦	兵庫県教育委員会事務局 教職員人事課 指導主事兼管理主事
3班	おおもと しんや 大本 晋也	青山学院大学コミュニティ人間学部 学部特任教授	11班	てらさか みお 寺坂 美桜	NPO法人コミュニティ事業支援ネット
4班	わたなべ まり 渡辺 真理	NPO法人あまがさき環境オープンカレッジ 副理事長	12班	うえやま てっぺい 上山 哲平	兵庫県教育委員会事務局 義務教育課 指導主事
5班	きづき もとひろ 木築 基弘	NPO法人暮らしのエコをすすめる但馬の会 副理事	13班	ひぐち しゅういち 樋口 秀一	兵庫県教育委員会事務局 高校教育課 指導主事
6班	かめやま ひでお 亀山 秀郎	認定こども園七松幼稚園 園長	14班	あかまつ みのる 赤松 稔	兵庫県教育委員会事務局 社会教育課 主任指導主事兼社会教育主事
7班	にしたに ひろし 西谷 寛	海と空の約束プロジェクト 代表	15班	はせがわ こうじ 長谷川 浩二	兵庫県環境部環境政策課 主査
8班	みつなり あさみ 光成 麻美	兵庫県立淡路景観園芸学校 インストラクター	16班	もりや かずのり 森谷 一徳	兵庫県環境部環境政策課 主査

グループディスカッションの様子



グループディスカッション（各班のまとめ）

第7回ひょうごユース eco フォーラム

「未来の暮らしを描こう～人と自然が共に豊かになる社会とは～」

1班

「脱炭素、生物多様性、資源循環の社会の実現」にむけて、各主体（「私」や「社会」）が行動すべきことを記入してください。

① 脱炭素、② 自然共生(生物多様性)、③ 資源循環 の社会を実現するために、

私は 人々の認識を高めるために身近な人達にもと伝え

ていきます。他校の生徒とも交流していきます。 をします！！

社会は さらに、法を整備してほしいと思う企業も価値を高める

ために自然共生への取り組みをします。 をします！！

<「人と自然が共に豊かになる社会」を目指すのに、さらに重要になるキーワード>

情報発信 情報提供 意識向上 共通認識
法の整備 ← ↑ 自然共生の重要性

第7回ひょうごユース eco フォーラム

「未来の暮らしを描こう～人と自然が共に豊かになる社会とは～」

2班

「脱炭素、生物多様性、資源循環の社会の実現」にむけて、各主体（「私」や「社会」）が行動すべきことを記入してください。

① 脱炭素、② 自然共生(生物多様性)、③ 資源循環 の社会を実現するために、

私は 外来種対策に向けて生物飼育の知識を深め

をします！！

社会は 外来種対策の啓蒙活動

をします！！

<「人と自然が共に豊かになる社会」を目指すのに、さらに重要になるキーワード>

ハイパーX-2
(竹害対策に)

第7回ひょうごユース eco フォーラム

「未来の暮らしを描こう～人と自然が共に豊かになる社会とは～」

3班

「脱炭素、生物多様性、資源循環の社会の実現」にむけて、各主体（「私」や「社会」）が行動すべきことを記入してください。

① 脱炭素、② 自然共生(生物多様性)、③ 資源循環 の社会を実現するために、

私は 無農薬食品や余っている食品を食べることで人も自然も

守っていく意識 をします！！

社会は SNSや教育の場、チラシなどを通して情報を知ること、

世代をこえた交流なども行って参加・体験を をします！！

通じて自然共生を考へること

<「人と自然が共に豊かになる社会」を目指すのに、さらに重要になるキーワード>

第7回ひょうごユース eco フォーラム

「未来の暮らしを描こう～人と自然が共に豊かになる社会とは～」

4班

「脱炭素、生物多様性、資源循環の社会の実現」にむけて、各主体（「私」や「社会」）が行動すべきことを記入してください。

① 脱炭素、② 自然共生(生物多様性)、③ 資源循環 の社会を実現するために、

私は 水の現状を学んで、再利用することでムダ使いをしないことを

あたりまえに をします！！

社会は ゴミの価値を見いだすことで、

資源循環をあたりまえに をします！！

<「人と自然が共に豊かになる社会」を目指すのに、さらに重要になるキーワード>

ゴミは宝、ゴミは博

グループディスカッション（各班のまとめ）

第7回ひょうごユース eco フォーラム

「未来の暮らしを描こう～人と自然が共に豊かになる社会とは～」

5班

「脱炭素、生物多様性、資源循環の社会の実現」にむけて、各主体(「私」や「社会」)が行動すべきことを記入してください。

① **脱炭素**、② **自然共生(生物多様性)**、③ **資源循環** の社会を実現するために、

私は 地産地消や旬菜旬済を意識した行動

をします！！

社会は 植樹・緑地整備を通じてCO₂吸収を高め、脱炭素社会を目指す

をします！！

<「人と自然が共に豊かになる社会」を目指すのに、さらに重要になるキーワード>

第7回ひょうごユース eco フォーラム

「未来の暮らしを描こう～人と自然が共に豊かになる社会とは～」

6班

「脱炭素、生物多様性、資源循環の社会の実現」にむけて、各主体(「私」や「社会」)が行動すべきことを記入してください。

① **脱炭素**、② **自然共生(生物多様性)**、③ **資源循環** の社会を実現するために、

私は 自然と学び、経験、体験

遊び

をします！！

社会は 自然について、知る権利、知りた権利

と保障しましょう！！

~~をします！！~~

<「人と自然が共に豊かになる社会」を目指すのに、さらに重要になるキーワード>

KW: 体験格差, 町や自然のデザイン
里山里海と守る,

第7回ひょうごユース eco フォーラム

「未来の暮らしを描こう～人と自然が共に豊かになる社会とは～」

7班

「脱炭素、生物多様性、資源循環の社会の実現」にむけて、各主体(「私」や「社会」)が行動すべきことを記入してください。

① **脱炭素**、② **自然共生(生物多様性)**、③ **資源循環** の社会を実現するために、

私は 自分の5か生活の中でできる最大限の

努力、行動

をします！！

社会は 現状を多くの人に知ってもらうために情報発信をし

意識改革を行う必要がある

をします！！

<「人と自然が共に豊かになる社会」を目指すのに、さらに重要になるキーワード>

現状について正しく理解し、色々な人と協力する

第7回ひょうごユース eco フォーラム

「未来の暮らしを描こう～人と自然が共に豊かになる社会とは～」

8班

「脱炭素、生物多様性、資源循環の社会の実現」にむけて、各主体(「私」や「社会」)が行動すべきことを記入してください。

① **脱炭素**、② **自然共生(生物多様性)**、③ **資源循環** の社会を実現するために、

私は 関心を持ち続けたい

知ってほしい

おもろいことをして、おもろいことを伝え ~~をします！！~~

社会は 古い技術を見直して人口減でくらする工夫を

-年、十年、百年単位で考えていく

~~をします！！~~

<「人と自然が共に豊かになる社会」を目指すのに、さらに重要になるキーワード>

くももの 循環, レトロな技術

グループディスカッション（各班のまとめ）

第7回ひょうごコース eco フォーラム

「未来の暮らしを描こう～人と自然が共に豊かになる社会とは～」

9班

「脱炭素、生物多様性、資源循環の社会の実現」にむけて、各主体（「私」や「社会」）が行動すべきことを記入してください。

① 脱炭素、②自然共生(生物多様性)、③資源循環 の社会を実現するために、

私は 地域の固有性を食育や生き物とふれあうこと
通じて学び、次の世代への継承 をします！！

社会は 自然環境に配慮した商品の価値を高め
森林・里山づくりに貢献し をします！！

広く世界に情報発信

<「人と自然が共に豊かになる社会」を目指すのに、さらに重要になるキーワード>

第7回ひょうごコース eco フォーラム

「未来の暮らしを描こう～人と自然が共に豊かになる社会とは～」

10班

「脱炭素、生物多様性、資源循環の社会の実現」にむけて、各主体（「私」や「社会」）が行動すべきことを記入してください。

① 脱炭素、②自然共生(生物多様性) ③資源循環 の社会を実現するために、

私は 意識を変え 新しい習慣を身につけ
購買行動を をします！！

社会は 環境教育をじゅぶっさせ、ルール
施設備設備を整備 をします！！

<「人と自然が共に豊かになる社会」を目指すのに、さらに重要になるキーワード>

第7回ひょうごコース eco フォーラム

「未来の暮らしを描こう～人と自然が共に豊かになる社会とは～」

11班

「脱炭素、生物多様性、資源循環の社会の実現」にむけて、各主体（「私」や「社会」）が行動すべきことを記入してください。

① 脱炭素、②自然共生(生物多様性)、③資源循環 の社会を実現するために、

私は エコバックを持ち、レジ袋さよなら宣言を
SNSで発信 をします！！

社会は 農業高校や大学で森林コソイを開催し、
優勝者には実現時まで支援 をします！！

<「人と自然が共に豊かになる社会」を目指すのに、さらに重要になるキーワード>

・習慣化
・新エネルギーの開発
・教育
・支援
・植木

第7回ひょうごコース eco フォーラム

「未来の暮らしを描こう～人と自然が共に豊かになる社会とは～」

12班

「脱炭素、生物多様性、資源循環の社会の実現」にむけて、各主体（「私」や「社会」）が行動すべきことを記入してください。

① 脱炭素、②自然共生(生物多様性)、③資源循環 の社会を実現するために、

私は 今の自分ができる生物多様性への取り組みを
実行・発信 をします！！

社会は 思いをついで、それぞれができる
取り組み をします！！

<「人と自然が共に豊かになる社会」を目指すのに、さらに重要になるキーワード>

意識・協力

グループディスカッション（各班のまとめ）

第7回ひょうごコース eco フォーラム

「未来の暮らしを描こう～人と自然が共に豊かになる社会とは～」

13班

「脱炭素、生物多様性、資源循環の社会の実現」において、各主体（「私」や「社会」）が行動すべきことを記入してください。

① **脱炭素**、② **自然共生(生物多様性)**、③ **資源循環** の社会を実現するために、
習慣化させ

私は 小さいこと(身近なこと)から始めて、少しずつCO₂削減に向けて
取り組む行動をレベルアップさせ をします！！

社会は 学校教育(授業の一環)として、^{家族} 家庭をまきこみ教育を進め、サポーターとして
知識をもちたまなおさんたちに対応してもらおう をします！！

<「人と自然が共に豊かになる社会」を目指すのに、さらに重要になるキーワード>

教育

第7回ひょうごコース eco フォーラム

「未来の暮らしを描こう～人と自然が共に豊かになる社会とは～」

14班

「脱炭素、生物多様性、資源循環の社会の実現」において、各主体（「私」や「社会」）が行動すべきことを記入してください。

① **脱炭素**、② **自然共生(生物多様性)**、③ **資源循環** の社会を実現するために、

私は ~~自然~~ 幼児期・児童期に自然体験の機会づくりを~~積極的~~進めます
継続してほしい。法人をマッチングする をします！！

社会は 現状などに関連せず、自分ごとにする~~こと~~した情報発信
すること。自然~~情報~~に関心~~をも~~をもたせかけたいです。 をします！！

<「人と自然が共に豊かになる社会」を目指すのに、さらに重要になるキーワード>

第7回ひょうごコース eco フォーラム

「未来の暮らしを描こう～人と自然が共に豊かになる社会とは～」

15班

「脱炭素、生物多様性、資源循環の社会の実現」において、各主体（「私」や「社会」）が行動すべきことを記入してください。

① **脱炭素**、② **自然共生(生物多様性)**、③ **資源循環** の社会を実現するために、

私は 環境を大切に、また、環境を考えた
最新技術を活用する企業支援 をします！！

社会は 田舎や自然を知ってもらうための機会、
そのための予算の確保 をします！！

<「人と自然が共に豊かになる社会」を目指すのに、さらに重要になるキーワード>

第7回ひょうごコース eco フォーラム

「未来の暮らしを描こう～人と自然が共に豊かになる社会とは～」

2035年の脱炭素社会!

16班

「脱炭素、生物多様性、資源循環の社会の実現」において、各主体（「私」や「社会」）が行動すべきことを記入してください。

① **脱炭素**、② **自然共生(生物多様性)**、③ **資源循環** の社会を実現するために、

私は 生活に伴うCO₂排出量をみえる化して実数ゼロを目指します!!
(省エネ家電、太陽光、EV車、食品ロス削減...) をします！！

社会は インタ×エコ社会 をします！！

<「人と自然が共に豊かになる社会」を目指すのに、さらに重要になるキーワード>

無理ない、面白い、楽しい、得た、
仕組み。

グループディスカッションを終えて（まとめ）

- 各班は、中学生、高校生、大学生、企業、地域団体、教育関係機関、専門家など、多様な主体で構成され、それぞれ異なる世代や立場から、自身が持つ考えや知識、経験などをもとに様々な意見が活発に交わされました。
- 個人や社会が行うべき具体的な取組として、地産地消の推進、有機農産物の選択、食品ロスの削減、生き物とのふれあい、外来種の防除、緑化推進、里山里海の保全、廃棄物の価値化などの資源循環、環境配慮企業の応援、環境学習・教育の充実など、多方面から環境課題へのアプローチが示されました。
- 特に、今回のグループディスカッションでは、多くの班が「情報」や「体験」の観点から議論を進め、課題への方向性を示していた点が特徴的でした。

「私たち」ができること(個人の視点)

◆知る

環境について正しく知る、知った上で関心を持ち、意識を変え、そのために多くの人々と交流して様々な意見に触れ、理解する

◆体験・実践

実際に体験してみる、日々の生活を見直し、環境にやさしい取組をできることから実践する、さらに実践した内容を情報発信して共有する

「社会」ができること(社会の視点)

◆情報発信

「私たち」が正しく知り・関心持ち・意識を変え・理解し・行動できるよう、広く情報発信する

◆「場」の提供

交流・学び・実践の機会を増やして体験格差をなくす

◆様々な主体による取組

社会全体が無理なく・楽しくエコ活動できる環境づくりを進め、各主体が連携して取り組む

本県では、①脱炭素 ②自然共生 ③資源循環 を基軸として様々な施策を推進しています。今回のグループディスカッションで示された方向性にもあるように、県では、直面する環境課題を県民の皆さんに正しく知ってもらい、多様な主体との交流や体験などを通して、環境保全の取組を実践してもらえるよう、今後一層取り組んでいきます。





【総合コーディネーター】

県立人と自然の博物館名誉館長 中瀬 勲

グループディスカッションでは、「体験格差」「まちや自然のデザイン」「エンタメエコ社会」等々、様々な興味深いキーワードが出た。より良い未来に向けて、真剣に議論していただいた成果だと思う。

私には、恩師から言われて大切にしている言葉がある。

「Science for Society(科学を社会のために)」「俯瞰的な視点」
今回のフォーラムで皆さんの発表・議論を聞き、その言葉を思い出した。
これからも、社会のため、地域のために、できることを考え続けてほしい。

クロージング

ご参加の皆さまのおかげで、とても素晴らしいフォーラムが開催できたことに感謝申し上げます。

県の環境基本計画では、「環境価値の創出」を重要な理念としている。この理念の実現には、多様な方々が連携して共創力を発揮することが不可欠である。今回、世代を超えて熱心に交流されている様子を拝見し、非常に頼もしく感じた。

このフォーラムを通じてネットワークが広がり、新たな取組・活動に繋がっていくことを期待する。



兵庫県環境部長 福山 雅章

学生スタッフの皆さん

第7回ひょうごユースecoフォーラムには、学生スタッフとして3名が参加し、若い力でフォーラムを盛り上げてくれました。



兵庫県立小野高等学校

常深 花歩さん・西角 風香さん・宮崎 多聞さん

学生スタッフの皆さんの感想

ひょうごユースecoフォーラムへ参加させていただき、ありがとうございました。今回私は、学生スタッフとして司会の仕事も務めることになりましたが、非常に良い経験になったと思います。普段しているポスター発表とは違った話し方がありましたし、マイクの前に立ったとき、どのように話せばよく声が通るのかなど、今まで経験がなかったこともスタッフの方々に教えていただいたことで、自身の成長につながったと感じています。また、ポスター発表においても、学会での発表とはまた違った雰囲気、個性が光る活動をされている方のお話も聞くことができ、充実していたと思います。

今回の催しで、環境に対する考えも深まり、自分が今している活動の意義なども見つめ直せたと思います。貴重な機会をいただき、本当にありがとうございました。

西角 風香

私は人前で話すのが苦手で、とても緊張したけれど、大きな声で話すことができ良かったです。司会をすることを通して、苦手なことにも取り組んでみるのが、自分の成長につながると改めて感じました。これからも、消極的にならず、自分からやってみることを心掛けていきたいです。

フォーラムでは、口頭発表とポスター発表をしました。私は初めて口頭発表をしたのですが、上手に話すことができ、とても楽しかったですし、良い経験になりました。また、ポスター発表では、37個ものポスターがあり、特にモリアオガエルの研究が印象に残りました。

貴重な機会をくださり、ありがとうございました。

常深 花歩

私は今回初めて司会という役割をやらせていただき、多くの気づきがありました。私は普段司会など人前に立つようなことはせず、後ろで支える役回りをするが多かったので、それをするというはとても新鮮でした。私は今までの人生の中でほとんどマイクというものを持つことがなかったのですが、スタッフの方々がマイクの使い方から話し方まで丁寧に教えてくれたため、とてもスムーズに行うことができました。

また、司会は一般の席には座らず、司会用の席に座っていたため、口頭発表のスライドはあまりよく見えませんでした。しかし、その分発表者の方の話す内容をしっかりと聞くことができ、新たな視点で口頭発表を聴くことができました。

私は今回のフォーラムが初めての参加でしたが、様々な人のおかげでとても楽しむことができました。今回多くの経験や人脈を得ることができ、とても有意義でした。ありがとうございました。

宮崎 多聞

<会場>
兵庫県立工業技術センター



<アクセス>

■ 電車でお越しの方

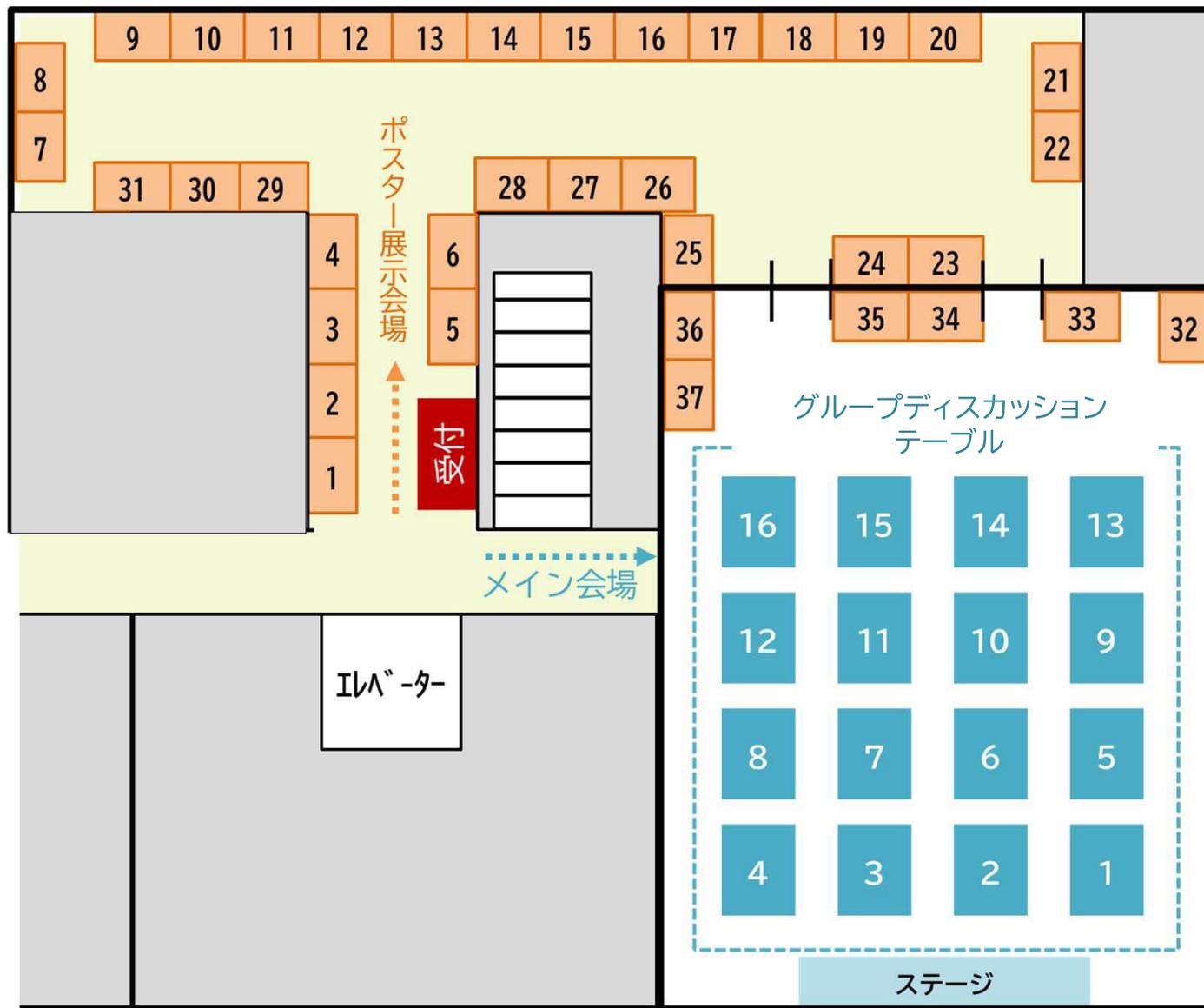
- ・ JR鷹取駅下車、西へ徒歩7分
- ・ JR須磨海浜公園駅下車、東へ徒歩9分
- ・ 山陽電車東須磨駅下車、南へ徒歩15分

■ お車でお越しの方

- ・ 阪神高速「若宮IC」から約5分
 - ・ 第二神明「須磨IC」から約10分
- ※ 敷地内に駐車場あり

【当日の参加者数】 141名

会場フロアマップ（研究本館2階）



編集発行

兵庫県環境部環境政策課 政策班（学習・活動支援担当）

〒650-8567 神戸市中央区下山手通5-10-1